

世界を変えるネットワークの 世界 M2M

日時 平成 25 年 7 月 10 日 (水) 13:30~17:30

場所 公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社 大会議室
(地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ隣)
東京都昭島市東町 3-6-1

●JR 青梅線「西立川」駅下車徒歩 7 分 (産業サポートスクエア・TAMA 内)

受講料 2,000 円

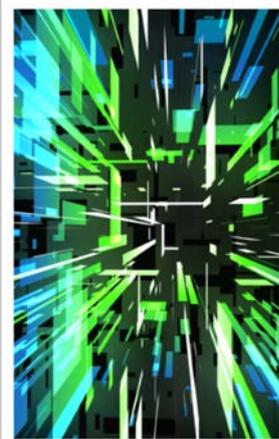
機械と機械が(人の手を介さず)ネットワークを介して通信や情報交換を行うシステムを、Machine-to-Machine、略して M2M といいます。末端の機器、それもコンピュータなどの情報機器のほか、センサや処理装置、通信装置なども1つのネットワークに集約し、サーバにすべての情報を集め一元管理・処理を行い、その情報で末端の機器を制御するものです。POS レジ、監視カメラ、ビル管理、工場の機械、自動販売機など幅広い分野で導入がすすんできています。

本セミナーでは、近年大きな注目を浴びている M2M の技術動向について、初心者にもわかりやすく解説します。

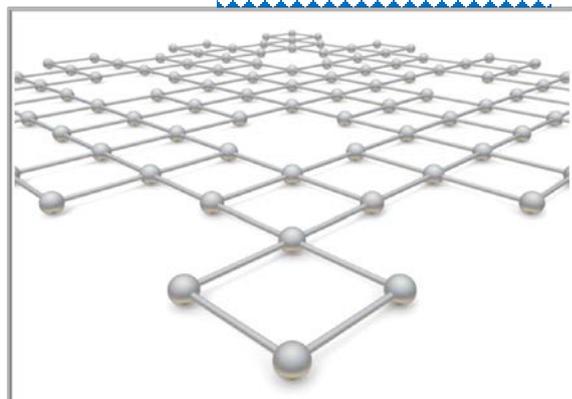
講座内容・スケジュール

時間	科目	講師
13:30~13:40	主催者あいさつ: 都産技研の活動について	東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ所長 鈴木 雅洋
13:40~15:10	M2Mの動向と応用事例 センサを含む機器同士または機器とクラウド上のサーバをネットワーク経由で接続し、様々なサービスを提供するM2Mシステムは、今後の発展が期待される分野として注目されています。M2Mシステムを実現するときに必要となる要素技術の概要と標準化動向ならびに応用事例について紹介します。	サイバー大学 教授 清尾 克彦 氏 1969 年、三菱電機(株)入社。主として計算機ハードウェア、システム LSI および、その支援システム(CAD)の開発に従事。2002 年 4 月から社内教育部門において情報工学と半導体工学分野の教育・研修の企画に従事。2009 年 10 月からサイバー大学 IT 総合学部教授。NPO 法人 M2M 研究会理事。
15:20~16:20	M2Mプロトタイピングの実践 現在市販されている無線モジュールを使用して、M2Mのプロトタイピングを実践した体験や手法を紹介し、まずはアイデアを形にして使用し、早い段階から企画のブラッシュアップにつなげられるようにできる部品を紹介します。	ルネサスエレクトロニクス株式会社 MCU 戦略製品開発部 岡宮 由樹 氏 2002 年、日本電気入社。マイコン用ツールの企画、サポートに従事。 2010 年、ルネサスエレクトロニクスに統合後、マイコン関係業務に従事。 2012 年より、MC 戦略製品開発部にて戦略ツールの企画に従事。
16:30~17:00	電子・機械グループの電子回路設計支援について	東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ電子・機械グループに所属。情報通信の研究開発に従事。 仲村 将司
17:00~17:20	広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)の中小企業の製品輸出支援体制の紹介	東京都立産業技術研究センター 広域首都圏輸出製品技術支援センター長 西野 義典
17:20~17:30	質疑応答	

※別会場にて 17:45~ 情報交換会 (講師との名刺交換と交流会) を予定しています。
(別途会費 2,000 円が必要になります。)



定員
50 名



会場：東京都中小企業振興公社多摩支社 2階 大会議室

